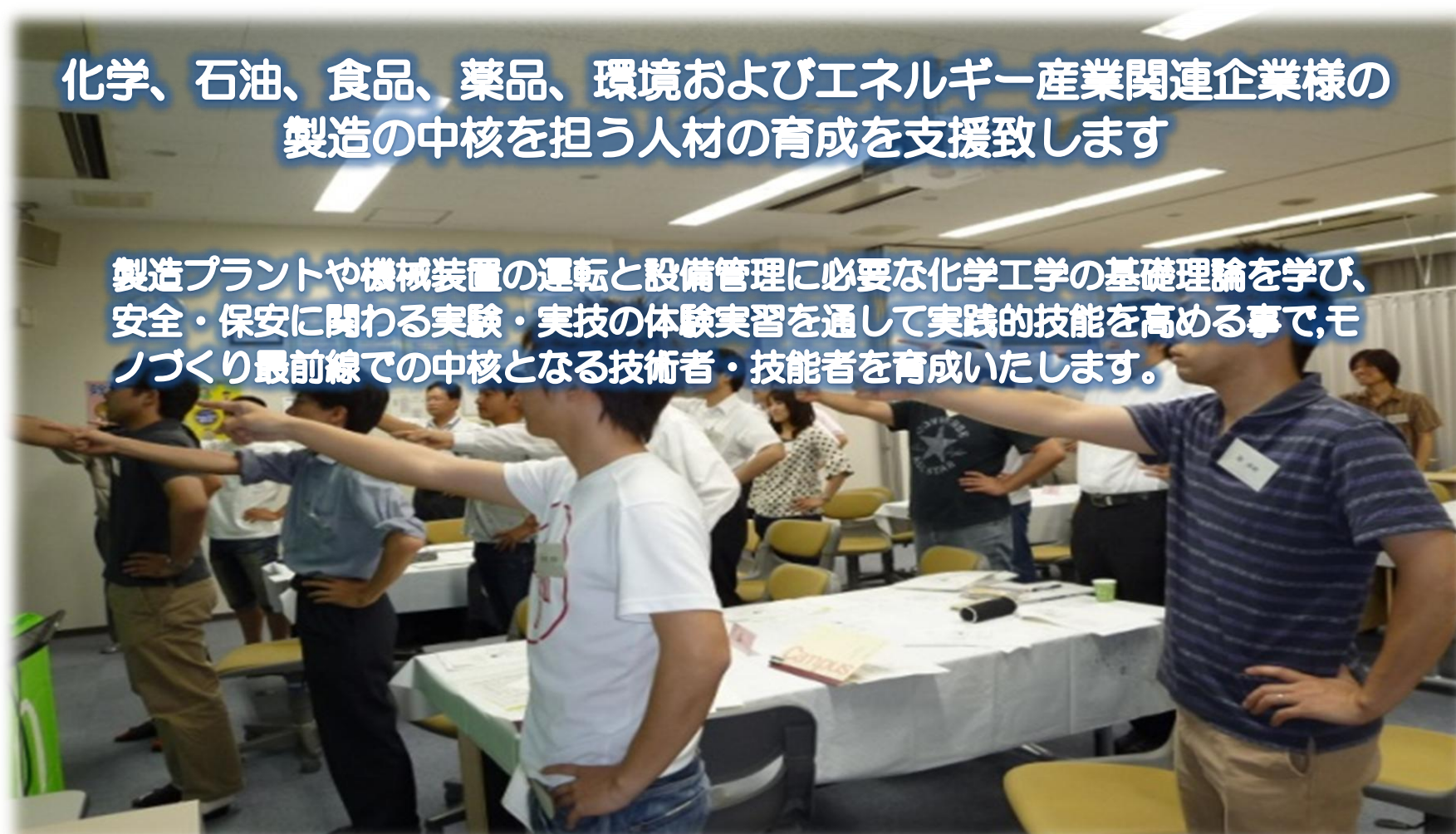


平成25年度「化学・プロセス産業基礎講座」

受講生募集のご案内



受講要綱

受講対象者 化学、石油、食品、薬品、環境およびエネルギー産業関連企業様で製造プラントや機械装置の運転、製造技術の管理・開発および設備管理に関わる新人から中堅の技術者および技能者。

受講方法 A講座（化学工学の基礎講座）とB講座（体験・事例に学ぶ安全・保安講座）の選択受講が可能です。即ち、（A+B）講座、A講座のみおよびB講座のみの3コースの受講の選択が出来ます。

※但し、A講座受講者は、工業高校卒業以上の数学知識を有する事とパソコンでMicrosoft Office Excelを使える事が必要です。

募集人員 総勢30名

■同一企業様から複数人の応募は可能です。

受講者は、P9の受講申込書の希望するコースを○で囲みお申込みください。

■申込締切（6月14日）後、受講人数の調整をさせていただきます。応募多数の場合は、受講をお断りする場合があります。また、応募少数の場合は、講座を開講しない場合がありますので予めご了承ください。

■受講対象者には、講座開講前に公益財団法人三重県産業支援センターより「受講決定通知書」を発行致します。

受講料 (A+B)講座の12日間の場合：24,000円/人
A講座のみの8日間の場合：16,000円/人
B講座のみの8日間の場合：16,000円/人

※受講対象者には、三重県より「納入通知書」をお送りしますので、指定金融機関の窓口にて受講料をお納めください。尚、受講料は、欠席された場合でも返金致しませんのでご了承ください。

申込方法 P9の受講申込書に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。

申込締切日 平成25年6月14日（金）17:00必着

※従業員に教育訓練を行った場合、各種助成金を活用できる場合があります。詳しくは各窓口へ事前にご相談ください。

- （例） ・キャリア形成促進助成金（問合せ先：三重労働局）
- ・雇用調整助成金（問合せ先：ハローワーク）

主催：四日市市・三重県
事業受託企画・運営実施：公益財団法人三重県産業支援センター
協力：鈴鹿工業高等専門学校、三重県内化学関連企業

この講座は、「平成25年度産業人材育成事業」を活用して、公益財団法人三重県産業支援センターが実施しています。

講座科目の内容

■ 全21科目（講座科目の概要P3を参照願います）

A講座： 「化学工学の基礎講座」 11科目

B講座： 「体験・事例に学ぶ安全・保安講座」 9科目

■ 化学工学の基礎理論講義に加え、化工計算やシミュレーション演習、実験・実習、グループ討議を組合せた実践的内容の科目構成となっております。

■ 企業および受講生のご要望に応え、逐次新科目を拡充・追加してきました。今年度は④、⑤、⑥の科目を拡充および追加しました。（内容は科目概要P3の※を参照願います。）

①Excel2010を用いた蒸留塔の設計と運転の最適化演習

②JSR社ミニチュアプラントでの運転基礎技能の習得

③化学工業に関わる法規制について

④装置材料の選定と腐蝕防食について ⑤電気の怖さ体験実習 ⑥挟まれ体験実習

講師陣

■ 大学教授、高等専門学校教授および大手化学企業のOBを含むベテラン講師が担当します。

■ 講師名、略歴は科目詳細表に記してあります。

開講日程

■ 開講式 7月4日（木）11:00～12:00 修了式 11月12日（火）16:00～17:00

■ 全日程12日間を予定。（各科目の日程は開講日程表を参照願います。）

7月4日 （木）	開講式 講座B	7月12日 （金）	講座A 講座B	7月24日 （水）	講座A	8月2日 （金）	講座A 講座B	8月30日 （金）	講座A	9月13日 （金）	講座A 講座B
9月26日 （木）	講座B	10月1日 （火）	講座A 講座B	10月8日 （火）	講座B	10月23日 （水）	講座A	11月1日 （金）	講座A	11月12日 （火）	講座B 修了式

講座風景



各講師の講義風景



基礎講座受講風景



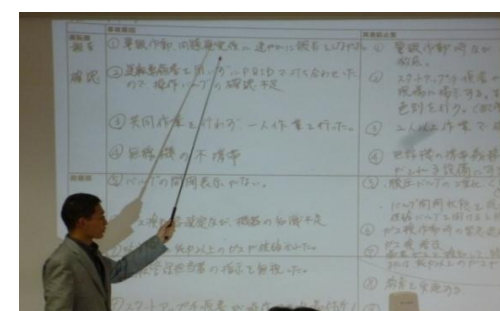
講師の演習助言



被液体験実習



機器・部品のカットモデルの見学



グループ発表

H25年度「化学・プロセス産業基礎講座」科目の概要

講座分類	科目No.	科目	概要
A 化学工学の基礎講座	1	流体輸送	流体の粘性、管径/流速/流量の相関および流れのエネルギー収支・損失を理解し、輸送機の選択基準や輸送動力の算出方法を学ぶ。
	2	固体の取り扱い	粒子と粉粒体の性質を学び、粉碎・混合・分級・集塵・濾過の各装置の原理と構造を学ぶ。
	3	熱の移動	熱移動（伝熱）に関する基礎知識（伝導、対流、輻射）を学び、蒸発・加熱・冷却などの各装置の構造と熱交換器の設計法を学ぶ。
	4	4-1 物質移動(蒸留)	蒸留操作の原理と装置の構造や蒸留塔の設計法を学ぶ。
		4-2 物質移動(吸収)	吸収操作の原理と装置の構造やガス吸収塔の設計法を学ぶ。
		4-3 物質移動(抽出)	抽出操作の原理と装置の構造や抽出装置の設計法を学ぶ。
	5	反応装置	化学反応の分類と反応速度式および各種反応装置の設計法を学ぶ。
	6	化学工業のプロセスとプラント	化学装置の設計手順、物質収支と熱収支の取り方および製品コストの計算と設備投資の経済性評価計算法を学ぶ。
	7	プロセス設計演習	Excel2010を用い2成分系蒸留塔の①最適設計②蒸気、製品単価が変化した時の経済性最適化③投資の経済性評価をシミュレーション。
	8	プロセス安全について	プロセスの安全設計に関わる化学物質の熱的危険性評価法やプラント安全性事前評価法を学ぶ。
	9	計測と制御	プロセス制御に欠く事の出来ない基礎的な計測・制御の原理と計測装置の構造および各種制御システムを学ぶ。
10	化学工業に関わる法規制について	労働安全衛生法、消防法、高圧ガス保安法や環境基本法などの化学プラントの運転・保守を行う上で必要不可欠な法律や規則を学ぶ。	
11	11-1 設備管理(計画保全と設備診断技術)	「計画保全」を構築するポイントと基礎的な設備診断技法を学ぶ。	
	11-2 設備管理(装置材料の選定と腐蝕防食)※	プラント装置の材料の選定と腐蝕・防食の基礎を学ぶ。	
B 体験・事例に学ぶ安全・保安講座	12	ミニチュアプラントによる初歩的な運転基礎技能の習得	JSR社のミニチュアプラントにおいて運転開始時や定常運転時の運転異常とその対処方法並びに流体輸送ポンプの基礎を学びトラブルを体験実習する。
	13	危険予知の基礎訓練	「KYT基礎4ラウンド法」訓練により、危険予知感度を高めると共に危険予知活動に必要な技能を磨く。
	14	化学機器・部品のカットモデルの見学	三菱化学社の各種化学機器・部品のカットモデルを見学し、その内部構造を正しく理解する。
	15	火災・爆発実験体験実習	三菱化学社の実験設備を用いて①可燃性ガスの着火実験、②粉塵爆発実験、③各種静電気の帯電と放電による可燃性ガスの爆発実験を観察し、火災・爆発現象や静電気発生のメカニズムを学ぶ。
	16	被液体験実習	三菱化学社の「体験モデル機」を用いて、配管に関わる実作業時の内液(水)飛散による被液被害を実体験し正しい作業手順を知る。
	17	熱傷・薬傷・溶剤の怖さ体験実習	熱傷による人体組織の破壊映像や酸・アルカリによる腐食実験と有機溶剤の防毒マスクによる除毒実験を通して、暴露による怖さを学ぶ。
	18	電気の怖さ体験実習※	漏電・感電・過負荷・短絡等の電気トラブルについての基礎知識を学びこれらの実験や感電体験を通じて、電気の安全な取り扱いを習得する。
	19	挟まれ体験実習※	災害事例や安全装置に関する基礎知識を学び、三菱化学社の「体験機」による、回転体への挟まれを実体験することで安全作業への意識向上を図る。
	20	事故事例に学ぶ	ヒューマンファクターに絡む事故事例を取り上げ、グループ討議を通して、複数の切り口からその原因の深掘りと再発防止策を考える。

※H25年度に拡充・追加した科目

H25年度「化学・プロセス産業基礎講座」開講日程

講座分類	科目No.	科目	7月	8月	9月	10月	11月
開講式と講座オリエンテーション			7/4(木) 11:00~ 12:00				
閉講式と修了証書授与							11/12(火) 16:00~ 17:00
A 化学工学の基礎講座	1	流体輸送	7/12(金) 9:00~16:00				
	2	固体の取り扱い					
	3	熱の移動		8/2(金) 9:00~15:00			
	4	4-1 物質移動(蒸留)			8/30(金) 9:00~17:00		
		4-2 物質移動(吸収)					
		4-3 物質移動(抽出)					
	5	反応装置			9/13(金) 9:00~15:00		
	6	化学工業のプロセスとプラント					
	7	プロセス設計演習				10/1(火) 9:00~15:00	
	8	プロセス安全について					
	9	計測と制御					11/1(金) 9:00~17:00
10	化学工業に関わる法規制について	7/24(水) 9:00~16:00					
11	11-1 設備管理(計画保全と設備診断技法)					10/23(水) 9:00~17:00	
	11-2 設備管理(装置材料の選定と腐蝕防食)						
B 体験・事例に学ぶ安全・保安講座	12	ミニチュアプラントによる初歩的な運転基礎技能の習得				10/8(火) 9:00~16:00	
	13	危険予知の基礎訓練	7/4(木) 13:00~ 17:00				
	14	化学機器・部品のカットモデルの見学	7/12(金) 16:00~ 17:00				
	15	火災・爆発実験体験実習				10/1(火) 15:00~ 17:00	
	16	被液体験実習			9/13(金) 15:00~ 17:00		
	17	熱傷・薬傷・溶剤の怖さ体験実習		8/2(金) 15:00~ 17:00			
	18	電気の怖さ体験実習			9/26(木) 10:00~ 15:00		
	19	挟まれ体験実習					
	20	事故事例に学ぶ					11/12(火) 9:00~16:00

H25年度「化学・プロセス産業基礎講座」科目の詳細

A. 化学工学の基礎講座

1,2	流体輸送、固体の取り扱い	07/12 (金)	9:00~16:00
講師	岩田 政司 (大阪府立大学大学院工学研究科物質・化学系専攻化学工学分野教授)		
場所	三重県産業支援センター北勢支所 (AMIC)		
講義内容		演習	
<p><流体輸送> 9:00~12:00</p> <p>1.流体の性質と流動の機構 2.連続の式とベルヌイの定理 3.管内流れのエネルギー損失と輸送動力 4.流量の測定と各種流体輸送機器</p> <p><固体の取り扱い> 13:00~16:00</p> <p>1.粒子の性状と測定方法 2.粉粒体層及び粒子・流体の性質 3.粉碎、混合、分級、集塵、ろ過装置の構造</p>		<p>1.輸送管の圧力損失の計算 2.輸送管のエネルギー損失、ポンプ所要動力計算 3.マンノメーターからの流量計算</p> <p>1.粒径分布表の作成 2.貯槽における粉体圧の計算 3.流動層の圧力損失、流動化開始速度の計算 4.粉碎エネルギーの計算</p>	

3	熱の移動	08/02(金)	9:00~15:00
講師	岩田 政司 (大阪府立大学大学院工学研究科物質・化学系専攻化学工学分野教授) 澤田 善秋 (鈴鹿工業高等専門学校生物応用化学科教授)		
場所	三重県産業支援センター北勢支所 (AMIC)		
講義内容		演習	
<p><伝熱の基礎知識> 9:00~12:00</p> <p>1. 伝熱の機構 2.伝導伝熱 3.対流伝熱と伝熱装置 4.放射伝熱</p> <p><熱交換器の設計演習> 13:00~15:00</p> <p>1.総括伝熱係数 (U値)、境膜伝熱係数 (h値) の推算と伝熱面積の計算 2.乾燥装置の種類と構造</p>		<p>1.水蒸気管の熱損量及び保温材表面温度計算 2.鋼管の総括伝熱係数の求め方 3.二重管型熱交換機の伝熱面積の求め方 4.加熱炉壁より炉内管への放射伝熱量計算 5.放射と対流の複合伝熱の場合の伝熱量の計算</p> <p>1.二重管型熱交換器の設計 (3ケース)</p>	

4-1,2,3,	物質移動(蒸留、吸収、抽出)	08/30 (金)	9:00~17:00
講師	澤田 善秋 (鈴鹿工業高等専門学校生物応用化学科教授) 岩田 政司 (大阪府立大学大学院工学研究科物質・化学系専攻化学工学分野教授)		
場所	三重県産業支援センター北勢支所 (AMIC)		
講義内容		演習	
<p><蒸留> 9:00~12:00</p> <p>1.蒸留原理と蒸留装置の構造 2.蒸留塔の設計演習</p> <p><吸収> 13:00~15:00</p> <p>1. 吸収原理と吸収塔の構造 2.吸収塔の設計</p> <p><抽出> 15:00~17:00</p> <p>1.三角座標による液液平衡 2.液液単抽出と多段抽出の図解法 3.固液抽出の計算法</p>		<p>1.x-y 線図の作成演習 2.マッケーブ・シールの図解法 3.最小理論段数および最小還流比の計算</p> <p>1.充填塔の塔径および塔高の設計演習</p> <p>1.液液回分抽出による抽出量の計算 2.向流多段抽出操作の所要理論段数の計算 3.固液回分抽出による抽出量の計算</p>	

5, 6	反応装置、化学工業のプロセスとプラント 09/13 (金) 9:00~15:00	
講師	岩田 政司 (大阪府立大学大学院工学研究科物質・化学系専攻化学工学分野教授) 澤田 善秋 (鈴鹿工業高等専門学校生物応用化学科教授)	
場所	三重県産業支援センター北勢支所 (AMIC)	
	講義内容	演習
	<p><反応装置> 9:00~12:00</p> <p>1.化学反応と反応装置 2.反応速度式 3.反応器設計の基礎式</p> <p><化学工業のプロセスとプラント> 13:00~15:00</p> <p>1.プロセス設計の内容と手順 2.プロセスの物質収支と熱収支および製品コスト</p>	<p>1.液相回分反応器での反応率より液組成の計算 2.液相回分反応器の設計演習 3.液相連続槽型および管型反応器の設計演習 4.気相連続管型反応器の設計演習</p> <p>1.蒸留塔の物質収支およびエネルギー収支 2.製品コストと損益分岐点の計算 3.投資の経済的指標の計算.</p>

7, 8	プロセス設計演習、プロセス安全について 10/01 (火) 9:00~15:00	
講師	澤田 善秋 (鈴鹿工業高等専門学校生物応用化学科教授)	
場所	三重県産業支援センター北勢支所 (AMIC)	
	講義内容	演習 (Excelの操作が可能な事)
	<p><プロセス設計演習> 9:00~12:00</p> <p>1.Excel2010シミュレーションモデルを用いた2成分系蒸留塔の設計および運転の最適化演習</p> <p><プロセス安全について> 13:00~15:00</p> <p>1.化学プロセスに関する法規と指針 2.労働災害と四日市地域における事故事例 3.熱安定性評価法、プラント安全性評価法 4.安全確保における組織トップの役割</p>	<p>1.逐次段計算による留出液組成の算出 2.還流比を変化させた場合の留出液組成および製品収量への影響と熱収支 3.還流比を変化させた場合のコストへの影響 4.製品価格および用役単価が変化した場合の最適還流比および損益分岐点</p> <p>1. TMR (Time to Max. Rate)の計算 2. TNR (Time to No Return)の計算</p>

9	計測と制御	11/01 (金) 9:00~17:00
講師	森 正美 (元三菱化学株式会社)	
場所	三重県産業支援センター北勢支所 (AMIC)	
	講義内容	演習
	<p>1.計装フローシートの見方と計装シンボル 2.計測の単位 3.計装機器の構造と測定原理 4.自動制御と制御動作 5.シーケンス制御とアドバンスト制御 6. DCSの機能とシステム構成 7.フィールドバスネットワークの概要 8.安全計装システム</p>	1.制御動作 (P・I・D) の最適化シミュレーション

10	化学工業に関わる法規制について	07/24 (水) 9:00~16:00
講師	日沖 勝哉 (三重県高圧ガス安全協会講師および四日市労働基準監督署安全衛生科指導員)	
場所	三重県産業支援センター北勢支所 (AMIC)	
	講義内容	演習
	1.石油コンビナート等災害防止法、労働安全衛生法、消防法、高圧ガス保安法及び環境基本法等の各法の規制 2.製品安全に関わる規制	

11-1,2	設備管理（設備保全と設備診断、装置材料選定と腐蝕防食）10/23（水）9:00～17:00	
講 師	野尻 和寛（公益社団法人日本プラントメンテナンス協会技術アドバイザー）	
場 所	三重県産業支援センター北勢支所（AMIC）	
	講義内容	演習
	<設備保全と設備診断> 9:00～14:00 1.計画保全再構築の取組み 2.保全マネジメントシステムの仕組み 3.設備診断技術の概要 4.回転機器の設備診断技術と応用事例 <装置材料選定と腐蝕防食> 14:00～17:00 1.炭素鋼の種類と特徴 2.SUS鋼の種類と特徴 3.非鉄金属の種類と特徴 4.腐蝕の原理とメカニズム 5.腐蝕の形態と影響因子 6.静止機器の設備診断技術	

B. 体験・事例に学ぶ安全・保安講座

12	ミニチュアプラントによる初歩的な運転基礎技能の習得 10/08(火)	
	グループA～B：9:00～12:00 グループC～D：13:00～16:00	
講 師	高木 領吉（JSR株式会社四日市研修センター）	
場 所	JSR株式会社四日市研修センター	
	講義内容	実習
	1.スタートアップと定常運転中に起こる運転異常について。 2.流体移送ポンプの基礎	1.ミニチュアプラントの運転操作と発生する運転異常とその処置を体験 2.ポンプトラブルの処置実習

13	危険予知の基礎訓練	07/04（木） 13:00～17:00
講 師	二宮美喜夫、伊藤和弘、後藤賢二（三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ）	
場 所	三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ研修センター	
	講座内容	訓練実習
	1.危険予知訓練の必要性 2.「KYT基礎4R法」の進め方 3.「自問自答カード一人KYT」の意義と実践法	1.グループ編成による4RKYT 2.グループ編成による一人KYT

14	化学機器・部品のカットモデル見学	07/12（金） 16:00～17:00
講 師	笠井早巳（三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ）	
場 所	三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ研修センター2階展示場	

15	火災・爆発体験実習	10/01（火） 15:00～17:00
講 師	嶋崎靖彦、二宮美喜夫（三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ）	
場 所	三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ研修センター	
	講義内容	実験
	1.可燃性ガスの着火実験 2.粉塵爆発実験 3.静電気の帯電とガス爆発実験	1.ガス爆発火炎の上方/下方伝播速度の観察 2.金網による火炎伝播阻止実験 3.粉塵爆発実験装置で、二次・三次連続爆発の実験 4.各種帯電実験による帯電電圧の測定と静電気ガス爆発実験

16	被液体験実習	09/13 (金) 15:00~17:00
講 師	若月建吾、二宮美喜夫 (三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ)	
場 所	三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ研修センター	
	講義内容	体験実習
	1.配管用機材の構造と噴出・飛散リスク 2.被液体験用モデル機の構造と被液体験実習	1.体験用モデル機による各種作業時の被液トラブルを体験実習

17	熱傷・薬傷・溶剤の怖さ体験実習	08/02 (金) 15:00~17:00
講 師	二宮美喜夫、佐藤要 (三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ)	
場 所	三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ研修センター	
	講義内容	実験・体験実習
	1.熱傷・薬傷の種類、症状及び応急処置 2.有機溶剤中毒と応急処置	1.酸とアルカリによる生肉の腐食実験を観察しその怖さを知る。 2.吸収缶防毒マスクの除毒実験とマスク装着実習によりその重要性和取り扱い法を知る。

18	電気の怖さ体験実習	09/26 (木) 13:00~15:00
講 師	嶋崎靖彦 (三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ)	
場 所	三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ研修センター	
	講義内容	実験・体験実習
	1. 過電流による発熱 2. 漏電と感電 3. 短絡 4. トラッキング現象 5. 高圧近接 6. 電気の安全な取り扱い	1. 過電流、束ねた電線による発熱実験 2. アースの効果、漏電遮断器の効果、感電体験他

19	挟まれ体験実習	09/26 (金) 10:00~12:00
講 師	若月建吾、二宮美喜夫 (三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ)	
場 所	三菱化学株式会社四日市事業所総務部人材育成グループ研修センター	
	講義内容	実験・体験実習
	1. 回転体の近傍での作業の注意点を知る。 2. 災害事例、災害統計と挟まれ事故数や被災箇所等を分析し、安全作業への意識向上を図る。	1. 回転体へ挟まれた時の痛さ、その力の大きさを体験し、その怖さを知る。 2. 回転機の緊急停止装置について理解する。

20	事故事例に学ぶ	11/12 (火) 9:00~16:00
講 師	堤 正之 (三重県産業支援センター技術者育成コーディネーター) 森 正美 (元三菱化学株式会社設備技術部次長)	
場 所	三重県産業支援センター北勢支所 (AMIC)	
	講義内容	グループ討議・発表
	1.事故事例のグループによる考察 (1) インターロック検査手順のミスによる爆発事故 (2) スタートアップの操作ミスによる有毒ガス漏洩事故 2.事故分析法と職場安全文化の醸成について	1.原因究明と再発防止策の検討・立案 2.グループ発表会

(宛先FAX. 059-349-2206)

平成25年度「化学・プロセス産業基礎講座」受講申込書

受講講座の選択 (選択する講座と科目を○で 囲って下さい)		(A+B) 講座、 A講座、 B講座	
受講生※	フリガナ		
	氏名		
	年齢		
	連絡先	(携帯電話もしくは自宅電話) - -	
		(E-mail)	
	最終学歴	大学院卒、大学卒、高専卒、高卒、専門学校卒、その他()	
	専攻科目	化学工学 有機合成 物質化学 農学・食品 機械 電気・電子 材料工学 情報処理 経営工学 その他()	
	勤務先	(会社名)	
		(所在地) 〒 -	
		三重県	
		(電話)	
		(E-mail)	
	所属課名		
	勤続年数	年 ヶ月	
役職			
業務内容	研究開発、プロセス設計、生産技術、品質保証、生産管理、製造管理、設備保守、環境保安、その他()		
受講の動機			
勤務先の窓口責任者	氏名		
	所属		
	役職		
	連絡先	(電話)	
	(E-mail)		
受講料請求先	「納付通知書」送付先	<input type="checkbox"/> 勤務する会社 <input type="checkbox"/> 受講生本人 (いずれかチェックを付けて下さい)	
		(所在地) 〒 -	
		三重県	
		(会社名)	
	(代表者名)		
	連絡先	(電話)	
	(E-mail)		

※ご提出頂きました個人情報責任を持って管理し、本講座に関わる事務処理以外には使用しません。

申し込みおよび問い合わせ先

この「受講申込書」をコピーの上、必要事項を記入して頂きFAXで下記へ申込み願います。

〒510-0851 四日市市塩浜町1-30

(公財) 三重県産業支援センター 北勢支所 (AMIC: 高度部材イノベーションセンター)

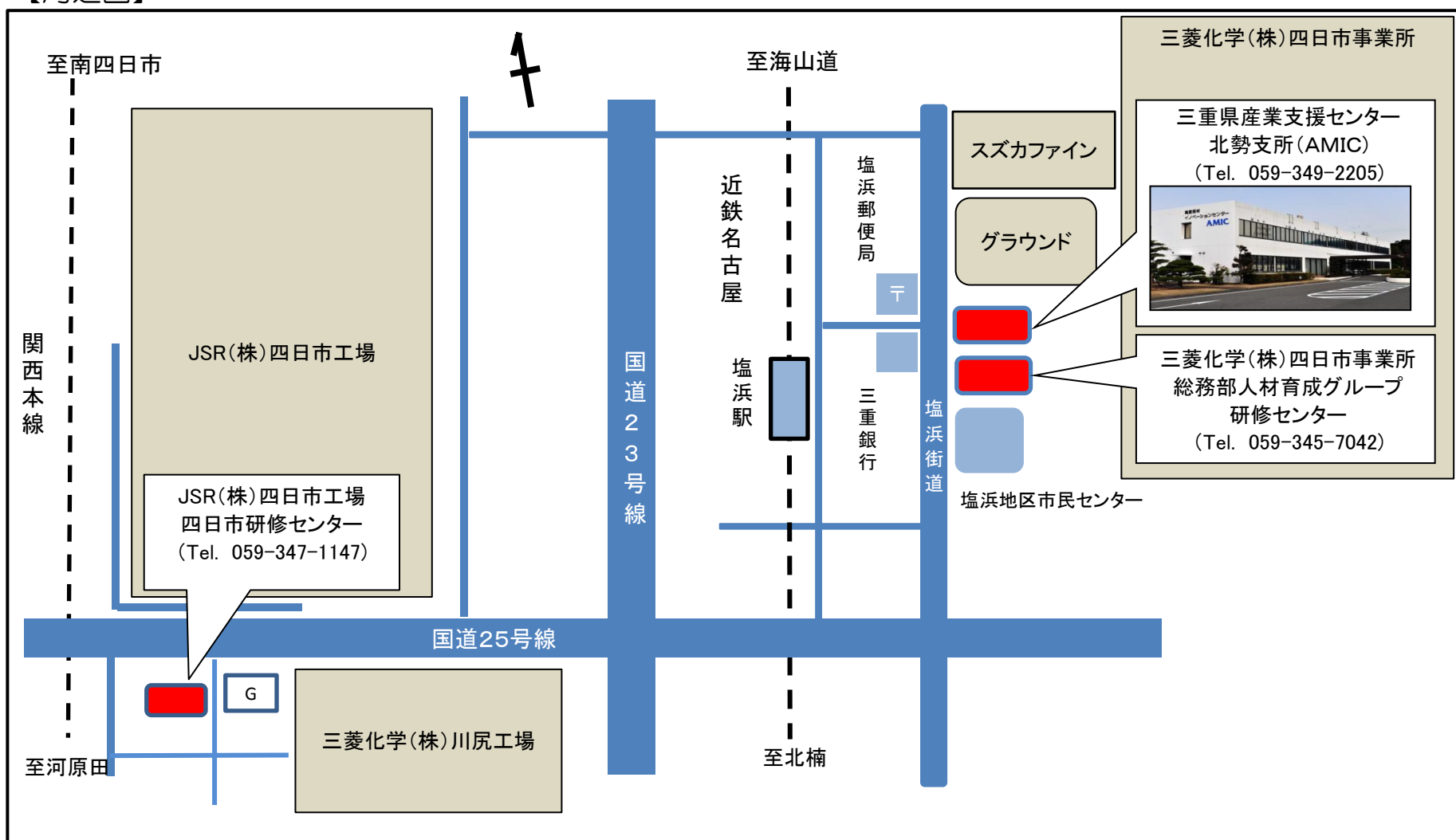
FAX. 059-349-2206

担当: 堤 森田 (TEL.059-349-2205)

講座受講場所のご案内

【ご案内】三重県産業支援センター北勢支所および三菱化学社研修センターは、近鉄名古屋線「塩浜駅」東口下車後、東に徒歩300m。(JSR社研修センターには、北勢支所より事務局の車に分乗して行きます。)

【周辺図】



■受講生の生の声

- ・ 11日間の講座で、いろいろな分野の基礎知識を学べた。継続して学習し、業務に活かして行きたい。頂いた資料を参考にしてより高度な技術者になるように努力していきたい。
- ・ 三菱化学の安全に関わる各種実験と実習並びにJSR社のミニチュアプラントを使用した運転解析やプロセス異常への対応実習では、頭で理解している知識や理論を実践的に学べ大変有益であった。
- ・ 他社の皆さんとの意見交流や討議はいろいろな刺激をうけた。交流がさらに深まるように、グループ討議や懇親の場を増やす工夫を期待する。

■受講生派遣企業代表者の声

- ・ 若手社員の設備関連教育として良い講座であり、引き続き教育して欲しいとの声を多数頂いているので、講座の継続を希望する。
- ・ 自社社員の技術力強化に繋がる内容を学ぶ事が出来、且つ安全・保安に関しても標準的な内容を体験を通して学ぶ事が出来るので大変有意義である。近くでこのような講座を開講して頂いて大変ありがたい。
- ・ 受講後は、安全・保安に対する考え方・意識が変わってきており、今後も受講者を派遣したい。製造現場に近い講座内容の継続をお願いしたい。



公益財団法人三重県産業支援センター北勢支所
 (高度部材イノベーションセンター内)
 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1-30
 TEL.: 059-349-2205 FAX.: 059-349-2206
 E-mail : amic@miesc.or.jp URL http://www.miesc.or.jp/